

MGP-Q6FP/BC2/60A/P1

	天井開口寸法 600×600	専用光源 LED 専用電源 定電流電源 入力電圧 100V/200V/242V
	器具質量 10.5kg	入力電流 [導光板] 0.61A(100V) 0.30A(200V) 0.25A(242V)
		消費電力 [導光板] 62.0W(100V) 59.9W(200V) 59.8W(242V) 周波数 50Hz/60Hz 光源・電源付き 適合調光器：SX-CD1500PWM 調光方式：PWM制御方式調光

安全に施工していただくために《各作業前に必ずご確認ください》			
⚠ 警告：誤って使用すると、人身事故につながるおそれがあります。		🚫：禁止事項	
⚠ 注意：誤って使用すると、物的損害につながるおそれがあります。		🛑：厳守事項	
取付前に	⚠ 警告	🚫	この器具は、一般通常環境の屋内専用器具です。 下記の使用環境・条件では使用不可です。(落下・感電・火災の原因) ●周囲温度0℃以下35℃以上 ●器具重量に耐えられない天井 ●天井内が断熱施工されている所 ●湿気の多い所 ●傾斜・凹凸天井 ●屋外 ●壁面 ●空調や風の受ける所 ●床面 ●振動、衝撃を受ける所 ●火気の近く ●直射日光の当たる場所 ●粉塵、腐食性ガス 発生場所 使用環境に適合するかの判断が困難な場合は、お問い合わせください。
	⚠ 注意		🛑 被照射面距離は、器具本体表示または仕様書に従ってください。(被照射物の変質・変色等の原因)
電気配線時に	⚠ 警告	🛑	電気工事は必ず有資格者が行ってください。(事故の原因)
			🛑 定電流電源をご使用ください。電源周波数は器具の銘板に従い正しく使用してください。(感電・火災の原因) (ドライバーは50Hz・60Hz共用)
			🛑 電源電圧は、器具銘板または本説明書に記載されている電圧±6%内でご使用ください。(ランプ短寿命・感電・火災の原因)
			🛑 配線部品を使用の際は、破損のないことを確認のうえ使用してください。(落下・損傷の原因)
器具取付時に	⚠ 警告	🛑	器具の取付は、器具本体表示または本説明書に従い確実に行ってください。(落下・感電・火災の原因)
			🛑 器具取付の際は必ず電源を切ってください。(感電の原因)
			🚫 点灯中、消灯直後は高温のため器具に触らないでください。(やけどの原因)
			🚫 布や紙、断熱材を器具の上に置いたり被せたりしないでください。(不点灯、火災の原因)
			🚫 器具の隙間に金属や燃えるものを入れないでください。(感電、火災、器具故障の原因)
			🛑 器具取付部以外の本体外郭が天井内外の造営材やダクト等の設備に接触しないように施工してください。(落下・感電・火災の原因)
			🚫 器具の分解・改造はしないでください。(感電・火災・落下・故障の原因)
			🚫 濡れた手で作業しないでください。(感電の原因)
	⚠ 注意	🛑	スプリンクラー等の防火設備に器具の熱が影響しないように施工してください。(誤作動の原因)

ModuleX

Installation Guide

取付説明書 (照明器具)

取付内容		取付図	注意図
BOX取付		600×600 天井開口寸法 2 天井 3 天井 アンカーボルト BOX 4 25	b 上から見た図 ボルト取付ピッチ 300±10 15×30長穴(2か所)
1	天井貼付前にアンカーボルトを施工する (別途工事業者手配)		
2	天井に埋込孔をあける		
3	埋込孔にBOXを入れる		
4	アンカーボルトでマウントを固定する		
⚠b アンカーボルトを固定する場所が2箇所あるのでご注意ください。			
一次側結線		下から見た図 導光板へ 電源端子台 信号線 解除ボタン 電源線 解除ボタン アース L N ⊕ 8mm 12mm 信号線 電源線 アース線	
1	電源接続用ドライバー（図中A）の端子台に電源線、アース線、信号線を右図のように接続してください		
⚠ 電源線、アース線、信号線は必ず通線孔を通してください（図中B、3か所）			
⚠ 必ず電源を切ってから作業して下さい			
⚠ コネクタの内側のピン(金属部分)を直接手で触れないで下さい			

取付内容		取付図	注意図
結線方法	1 専用電源とコネクタをつなげる		
	⚠ コネクタは確実に接続してください。 はずす場合は、インナーロックを押しながら引きます。		
	⚠ アースは電気設備技術基準に基づきD種接地工事を行なってください		
	⚠ 必ず電源を切ってから作業して下さい		
導光板の取付	1 導光板取付用のバネ穴にVバネを設置する	導光板取付用バネ穴(4箇所)	⚠h
	2 導光板取付用のバネ穴にセーフティワイヤーを設置する		
	3 導光板をBOXに押し入れる		
	⚠ BOXの内側面と導光板の上面に「A」シールを貼付してあります 取付けの際にはシール貼付面の方向を合わせて設置してください		
	⚠h 導光板取付用Vバネとセーフティワイヤーは片方ずつ導光板取付用バネ穴に設置してください。		
	⚠ 器具が天井内の造営材等に接触しないようご注意ください。		
	⚠ 本体の内側は素手で触らないように注意してください。汚れがついた場合はやわらかいきれいな布等で拭き取ってください。		
	⚠ 器具を天井内に戻す際は、セーフティワイヤー、電源コードを巻き込まないようにご注意ください。		

お問い合わせは 株式会社モデュレックス

■器具の寿命について

照明器具には寿命があります。

設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。

※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯です。(JIS C 8105-1解説による)

- ・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
- ・3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
点検せずに使い続けるとまれに火災・感電・落下などに至る恐れがあります。

■保証について

保証期間

弊社独自の長期保証期間を定めています。

保証内容

製品の不具合が発生した場合製品毎の保証期間と条件によって無償修理
または無償交換致します。照明器具の施工により破損や施工に関わる部材などは
保証の対象外になります。

修理のご依頼について

保証期間が過ぎている場合、また、保証条件にあたらな場合は、
有償修理とさせていただきます。

保証条件

詳細な保証条件につきましては、「保証書」に記載しております。

※詳細につきましては、弊社営業担当へお問い合わせください。

■アフターサービスについて

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い求めの販売店または弊社営業所にお問い合わせください。

ModuleX

ModuleX Maintenance

ModuleXを安心してお使い頂くために

MGP-Q6FP/BC2/60A/P1

作成2017.6.16

お問い合わせは 株式会社モデュレックス

ModuleX

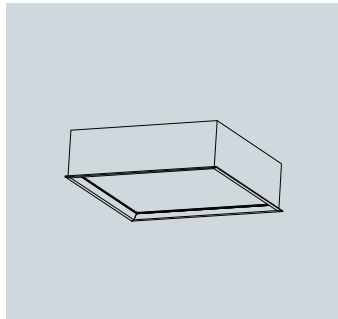
〒106-8555 東京都渋谷区恵比寿南1-20-6第21荒井ビル

〒545-8585 大阪府大阪市中央区北浜4-1-21住友生命淀屋橋ビル2F

〒812-8580 福岡県福岡市中央区大名1-8-30-1

MGP-Q6FP/BC2/60A/P1

ModuleXを安心してお使いいただくために



適合電圧 100V/200V/242V
消費電力 [導光板]
62.0W(100V)
59.9W(200V)
59.8W(242V)
適合調光器 SX-CD1500PWM
調光方式 PWM制御方式調光



専用光源
色温度 [導光板]
3500K(温白色)

※光源の交換の際はお問い合わせください

■ 器具メンテナンスについて

取外内容		取外図	注意図
	BOXから導光板を取り外す 1 BOXから導光板を引っ張る 2 専用ドライバーの二次側コネクタを外す 3 セーフティワイヤーを外す 4 導光板取付用Vバネを外す		
	⚠h 本体取付用バネとセーフティワイヤーは片方ずつ本体取付用バネ穴から取り外してください。		
	⚠ 本体の内側は素手で触らないように注意してください。汚れがついた場合はやわらかいきれいな布等で拭き取ってください。		
	⚠ 器具を天井内に戻す際は、電源コードとセーフティワイヤーを巻き込まないようにご注意ください。		
	⚠ 必ず電源を切ってから作業して下さい		

安全にメンテナンスしていただくために《 必ずご確認ください 》		
⚠ 警告：誤って使用すると、人身事故につながるおそれがあります。		🚫：禁止事項
⚠ 注意：誤って使用すると、物的損害につながるおそれがあります。		🛑：厳守事項
⚠ 警告	🛑	器具やランプの取付は、器具本体表示または本説明書に従い確実に行ってください。(落下・感電・火災の原因)
	🛑	ランプ装着の際は必ず電源を切ってください。(感電の原因)
	🚫	点灯中、消灯直後は高温のため器具に触らないでください。(やけどの原因)
	🚫	布や紙、断熱材を器具の上に置いたり被せたりしないでください。(不点灯、火災の原因)
	🚫	器具の隙間に金属や燃えるものを入れないでください。(感電、火災、器具故障の原因)
	🛑	器具取付部以外の本体外郭が天井内外の造営材やダクト等の設備に接触しないように施工してください。(落下・感電・火災の原因)
	🚫	器具の分解・改造はしないでください。(感電・火災・落下・故障の原因)
	🚫	濡れた手で作業しないでください。(感電の原因)
	🛑	煙や異臭等の異常を感じた場合は、すぐに電源を切り、工事に修理を依頼してください。(感電・火災の原因)
⚠ 注意	🛑	スプリンクラー等の防火設備に器具の熱が影響しないように取付してください。(誤作動の原因)